

JA 柏崎ブランド枝豆の名称が決定！ — 枝豆の 1 億円産地を目指して

令和 2 (2020) 年に募集を行った、JA 柏崎管内で生産している枝豆「新潟系 14 号」の名称が「越後はちこく茶豆」に決定しました。

市は、1 億円園芸産地を目指す重点品目の一つとして、枝豆の 1 億円産地化に取り組んでいます。令和 2 (2020) 年度には、JA 柏崎が補助金を活用した枝豆選別出荷調製施設を整備し、昨年は、生産者 26 名、栽培面積 27.9ha、総出荷量 33.7t、販売額 25,186 千円となりました。

このたびの名称決定により、さらなる販路拡大と販売額の増加を目指します。

1 「越後はちこく茶豆」の特徴

新潟県の特産品でもある「茶豆」は、通常 8 月から収穫できますが「越後はちこく茶豆」は早生茶豆品種のため 7 月中旬から収穫できます。

茶豆特有の香り・旨み・甘みの全てが揃い、一般的な茶豆より大粒で食べ応えがあります。

2 「越後はちこく茶豆」の名前の由来

「八石山」は、柏崎・刈羽・小国地域のほぼ中央に位置し、そこに生える 1 本の木から大豆が八石採れたことから付けられた名前です。この「はちこく」を使用しました。

【参考：募集概要など】

- (1) 募集期間 令和 2 (2020) 年 6 月 1 日 (月曜日) ～6 月 25 日 (木曜日)
- (2) 応募総数 約 600 点
- (3) 決定方法 一次、二次選考で 13 点まで候補を絞り、関係機関の投票により最終候補を選定。令和 3 (2021) 年 7 月に名称が決定しました。

